平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策No.	5-1-1		
2　地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3　政策	みどりの創造と保全		
4　施策	みどりの拠点拡大【重点】		
5　評価担当部	都市整備部		
6　施策関連課	公園緑地課		
7　評価者	土木担当部長		

8　施策の目標	公共施設の跡地活用や防災性の向上に取り組む居住環境総合整備等の活用により、新たな公園・児童遊園等を整備・拡充します。 公園の改修及び再整備について、各公園の価値を引き出すため、地域の実情を踏まえながら、だれもが快適に集い、憩えるようなみどり豊かな公園等の拡大を目指します。 民有地の緑化面積の拡充に努めます。
9　施策の現状と課題	豊島区は大規模公園が少ないこと等から、区民一人あたりの公園面積は、0.73㎡（仮児童遊園等含む）と少ない状況にあります。区民が潤いのある快適な暮らしを送るためには、みどり豊かな公園等を増やしていくことが必要です。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	都市公園の設置にあたっての基準は、国が一律に定めていたものであり、平成24年改正により、地域の実情にあった最適な行政サービスの提供に実現する観点から、地方公共団体自ら条例で定められるようになった。また、平成16年の都市緑地法改正により、みどりの基本計画内に都市公園の整備方針を追加し、市町村が地域の状況に応じて自主的に策定する緑の基本計画に即して都市公園の整備を行うことしている。 一方で、近年、環境や社会貢献に対する区民の意識が高まり、公園施設の設置や管理について、地域住民等の参画などのニーズが高まっている。
11　今年度の施策の取組方針	公共施設の跡地活用や防災性の向上に取り組む居住環境総合整備等の活用により、新たな公園・児童遊園等を整備・拡充します。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	3,014,351	3,283,595	3,934,071	0	0
うち一般財源分（千円）	814,656	1,101,593	3,009,792	0	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
公園の新設・改修面積（新設面積の累計）【㎡】		目標値	24633	24633	24633	33323	58100
		実績値	24633	24633	24633		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—	—
		達成状況	A：達成	A：達成	A：達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	公園の整備は区内のみどりの拠点が増加したことを示す指標であるため				

指標(2)	補助指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
豊島区における緑被率【%】		目標値	12.9	12.9	12.9	12.9	13.0
		実績値	12.9	12.9	12.9		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—	—
		達成状況	A：達成	A：達成	A：達成		
指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由	緑被率の向上が、区民の潤いある快適な暮らし、また区民満足度の向上につながると考えられる指標のため				

指標(3)	補助指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「みどり豊かで、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」と回答した区民の割合【%】		目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	30.9	35.7	38.7		
		達成率	61.8%	71.4%	77.4%	—	—
		達成状況	C：未達成	B：相当程度達成	B：相当程度達成		
指標重要度の割合(%)	20	指標設定理由	区民意識調査の結果を活用				

14　施策達成状況

平成30年度達成状況	95.5%
B：相当程度達成	【達成状況分析】 ① 公園の整備面積について、平成30年度に変化はない。ただし、令和元年以降新規開園予定の公園整備事業（旧高田小公園、造幣局跡地防災公園、池袋本町二丁目公園）が進んでいる。また公園改修事業（池袋西口公園、中池袋公園）も進んでおり、計画通りと判断できる。 ② 豊島区における緑被率は、5ヵ年に一度の緑被現況調査による結果であり、目標年度32年度に13%の緑被率は、公園整備や民間施設の緑化によって達成を見込んでいる。 ③ 平成30年6月に実施した区民意識調査による結果である。さらに、H25年の調査（23.2%）と比較しても着実に向上している。 【指標重要度の割合の設定理由】 公園の整備面積は、最も大きい施策の指標であるため過半の50%とした。 次に、緑被率と区民満足度指標とを30対20で割り振った。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	本施策の主たる事業である「公園・児童遊園新設改良費」は、新設または改修する公園に要する費用である。豊島区における区民一人あたりの公園面積は、畳半分にも満たない0.73㎡／人（H30）であり、特別区内最下位は変わりない状況である。 公園面積が増加したとしても、住みたいまち、住み続けたいまちとして発展する一方で、人口の増加によって、区民一人あたりの面積は減少することもある。そのため、公園整備面積の累計によって、当初計画した整備面積を整備したことを評価するとともに、補助指標でみる区民意識調査の結果も踏まえて、区民から期待が寄せられていると判断したい。
16　施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由）	上記15に記載のとおり、「公園・児童遊園新設改良費」が、当施設に最も重要な施策であることから★★★とした。また、この施策と連動し、施設整備後の公園等の施設の維持管理に要する経費については★★とした。みどりを増やす施策は、当施策の重要な施策ではあるが貢献度としては、三番目になることから、★とした。
17　来年度の方針（課題解決策や改善策、成果向上策について）	令和元年度以降、整備・改修を実施した公園が、順次供用開始となるため、公園の新設・改修面積や、緑被率の向上も大いに期待できる。 また、区民意識調査での評価も向上できるよう、ハードの作りこみだけなく、管理運営面での一層の創意工夫や、低利用の児童遊園などを、区財政への負担を抑えつつ利活用へ向けた取組を推進していく。
18　新規・拡充事業の効果や必要性	令和元年度には、池袋西口公園や中池袋公園がリニューアルオープン並びに、旧高田小公園や池袋本町二丁目公園がオープンし、令和二年度には、造幣局跡地防災公園がオープンする。これらの公園整備後は、新たに維持管理経費が発生することになる。

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1103-01	公園・児童遊園新設改良費		事業費合計（千円）	2,312,998	2,470,150	2,949,204		
			うち一般財源分（千円）	180,318	356,512	2,100,985		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A':改善・継続		
1103-02	公園等維持管理運営事業経費		事業費合計（千円）	672,002	778,317	959,903		
			うち一般財源分（千円）	609,589	714,455	888,552		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
1103-03	緑化推進関係経費		事業費合計（千円）	29,351	35,128	24,964		
			うち一般財源分（千円）	24,749	30,626	20,255		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★		
	事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

1　施策No.	5-1-2		
2　地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3　政策	みどりの創造と保全		
4　施策	みどりのネットワークの形成		
5　評価担当部	環境清掃部		
6　施策関連課	環境政策課	公園緑地課	
7　評価者	環境清掃部長　柴　俊之		

8　施策の目標	区道の街路樹・植樹帯を整備することによって、公園・児童遊園等をはじめ、公共施設や民有地の緑をつなぎネットワークを形成していきます。 学校等の区有施設のほか、民有地への植樹などを通じて、区全体の緑化を推進します。 様々な主体による緑化活動を支援するとともに、主体相互間の連携・協働を推進します。
9　施策の現状と課題	○区内のみどりのネットワークを形成する主なものは街路樹であるため、都道や区道の整備事業に伴う街路樹整備により、一定の設置割合を維持するよう努めている。街路樹等の設置割合の維持に加え、樹木の健全な育成と歩行者の安全確保のため、適切な維持管理が求められている。 ○ヒートアイランド現象による地面や建築物の蓄熱が、熱中症など健康に深刻な影響を及ぼしており、地面や建築物の蓄熱量を抑えるため、身近なみどりを増やす必要がある。 ○近年、区内全域で緑化の取組を行っている個人・企業等が増えており、緑化の取組を支える様々な団体や個人の活動を支援することが必要である。
10　施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	○区内の再開発の進展により、区の人口は増加を続けており、集中的な緑化を行う余地が年々減少している。
11　今年度の施策の取組方針	○集合住宅のベランダなどでも育てられる低木のPRを強化。

12　投入コストの推移

費　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費合計（千円）	86,889	83,722	77,807	0	0
うち一般財源分（千円）	42,253	44,388	52,076	0	0

13　施策の達成度を測る指標の推移

指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
街路樹の設置割合【%】		目標値	77.80%	77.80%	79.00%		
		実績値	77.80%	77.80%	79.00%		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—	—
		達成状況	A：達成	A：達成	A：達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	設置割合の増加は、区内のみどりが増加し、みどりのネットワークが形成されていることを示す指標であるため。				
指標(2)	補助指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
植樹本数（苗木配布本数を含む）【本】		目標値	10,000	10,000	7,000		
		実績値	8,803	18,230	9,900		
		達成率	88.0%	182.3%	141.4%	—	—
		達成状況	B：相当程度達成	S：目標超過達成	S：目標超過達成		
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由	平成21年度より「グリーンとしま」再生プロジェクト事業が開始となり、その時点で10年間に100,000本の植樹を実施するという目標設定をしており、施策達成度を測る指標として適正である。				

14　施策達成状況

平成30年度達成状況	120.7%	【達成状況分析】
A：達成		平成21年度から集中的な植樹を開始し、平成30年度までの10年間で目標の10万本を達成した。この間、学校や老人保健施設の職員はもとより、NPOや地域住民の協力により、維持管理も実施している。
		【指標重要度の割合の設定理由】
		区内の緑の多くは、公園や街路樹によるものだが、公園や公共施設の空き地に「いのちの森」「学校の森」の植樹をしており、公園緑地課の職員の協力を得ている。

15　施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	基本的には、植樹した施設が維持管理を行っており、地域住民が育成をしている場所もある。 学校教育に取り入れるなど、高密都市の中で自然に触れる機会となっている。

平成30年度（令和元年度実施）　施策評価表

16　施策貢献度の考え方 （設定の根拠・理由）	「グリーンとしま再生プロジェクト事業」は年間10,000本の植樹（苗木の配付を含む）を目指し、10年間で100,000本の目標を掲げ、平成30年度で100,000本達成した。 また、本プロジェクト10年目にあたり、10万本達成記念イベントを10月28日に実施した。 「誕生記念樹配付事業」については、平成27年度からの事業であるが、子どもの誕生を祝い、健やかな健康を願って苗木を贈るとともに緑化の推進を図る事業である。申込み件数が事業開始年度より増加しており、区内植樹本数に一定の貢献をしている。 「街路美化経費事業」は、街路樹の適正な維持管理を行うことにより、樹木の健全な育成と歩行者の安全を確保し、みどりの保全に貢献している。 「界わい緑化事業」については、平成30年度も実績がなかった。
17　来年度の方針 （課題解決策や改善策、成果向上策について）	地域住民が自主的に育樹を行い、高木となった場所をはじめ、今後は「いのちの森」「学校の森」としていかに維持していくかへ移行する時期と捉えている。 また、「界わい緑化」については、平成30年度をもって廃止した。
18　新規・拡充事業の 効果や必要性	「いのちの森」のコンセプトを熟知した委託業者からノウハウを得、必要な維持作業を行う。

19　施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0601-01	「グリーンとしま」再生プロジェクト事業		事業費合計（千円）	20,973	22,492	30,351		
			うち一般財源分（千円）	20,973	22,492	30,351		
			現状評価	A：良好	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	C:縮小	A':改善・継続		
0601-02	誕生記念樹配付事業		事業費合計（千円）	3,053	3,104	4,725		
			うち一般財源分（千円）	3,053	3,104	4,725		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	B:改善・見直し	B:改善・見直し		

20　施策を構成する一般事業

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1103-05	街路美化経費		事業費合計（千円）	62,863	58,126	42,731		
			うち一般財源分（千円）	18,227	18,792	17,000		
			現状評価	B：普通	B：普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					